

事業計画書

<p>現在の地域課題に対する本事業での実施内容</p>	<p>佐久市の移住を検討している若年世帯から、実際に移住した後に地域に馴染めるのか不安に感じているという声がよく聞かれる。実際に佐久市へ移住してから同年代や類似した環境(子が同年代・趣味がスキー等)のコミュニティを求めているがなかなか出会えないという状況もある。</p> <p>また、市内に住み始めてから日が浅い世帯からも同等に移住後のコミュニティを求めている声を聞く。</p> <p>これらの地域課題に対し、移住前から自身と似たような環境にある佐久市民とコミュニケーションを取れるイベントを開催し、移住後は佐久市の良さを再確認してもらい、移住後の満足度の向上またシビックプライドの醸成の機会を得られるような取り組みを行う。</p> <p>① 佐久市民および佐久市へ移住(UIJターン)を検討している子育て中の若年層世帯を対象としたイベントの開催</p> <p>② 大学生～30代前半の佐久市民および佐久市へ移住(UIJターン)を検討している人を対象としたイベントの開催</p>
<p>対象となる人・範囲</p>	<p>対象：</p> <p>① 佐久市へ移住(UIJターン)し1年未満の大学生～若年層および若年層子育て世帯（5組・大人10人/回×10=100名+お子様）</p> <p>② 佐久市へ移住(UIJターン)を検討している大学生～若年層および若年層子育て世帯（10組・大人20人/回×10=200名+お子様）</p> <p>①+②=計300名+お子様</p>
<p>事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)</p> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・公益性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移住前から地域のコミュニティに触れてもらうことで、移住後の生活をより充実したものにしていけるよう取り組む。 ・佐久市内の自然環境や人財の資源を活かした発信・イベント開催を行い魅力を市外へ伝えていく。 ・イベント参加者から佐久市へ移住を決める人を3組以上出す。 ・イベント開催後のアンケートを実施し、「佐久市に住みたくなった」の回答率の40%以上を目指す。 ・初年度の参加者は全体で300名以上を目標にする。
<p>詳細</p> <p>(活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)</p>	<p>佐久市の環境資源や人材を活用したイベント（部活動）を開催する。テーマは大きく分けて3つとする。</p> <p>(1) 山岳部・・・</p> <p>現在シティープロモーションの一環で佐久市が行っている「リモート市役所」内で登山をしてみたい。という声が多数上がっている。</p> <p>佐久地域の各山の情報が豊富で登山ガイドの経験がある人材を講師として招き、自然を体験してもらいながら佐久登山の魅力発信ひいては佐久地域の魅力発信ができるイベント（部活動）を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久市内の山岳地帯を使用したと登山イベントを開催する。 ・佐久地域の移住者である山岳ガイドを講師として、安全性に配慮するものとする。 ・開催場所は佐久市内の山岳地(複数)また当事業外で浅間山を検討している。 ・開催頻度はグリーンシーズンである7月～10月の中で計4回開催する。 <p>(2) ICT部・・・</p> <p>地域課題をICTを用いて解決していく取り組みを行う。移住者や移住検討者はインターネットを使用した仕事に従事していることが多く、自身のスキルを生かして地域がより住みやすくなるような活動が行えるイベント（部活動）を開催する。</p>

<p>を記載する)</p> <p>記載ポイント</p> <p>事業の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立促進 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久地域の中で課題をディスカッションし、解決できるようなサービスの開発を目指し、交流会を行う。 ・開催場所は佐久市内のワークテラス佐久を検討している。 ・開催頻度は年間で3回開催する。 <p>(3) 味わう部・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久市内の食の資源や題材を生かし、魅力を味わってもらおうオンラインイベント（部活動）を開催する。移住希望者の参加を多数募り、市民との交流もできるように佐久市民の参加も毎回5組程度募集する。 ・開催するイベント内容はカラマツを使った親子のワークショップの開催や、佐久産の米や日本酒の食べ比べや飲み比べとする。 ・発信場所（メインホスト）は佐久市内のワークテラス佐久を検討している。 ・開催頻度は年間で3回、オンライン上(zoom使用を想定)で開催する。 <p><周知方法></p> <p>イベントの告知や開催報告、各部活動の概要などはオウンドメディアを使用し行うものとする。当サイト構築は団体内でデザインを内製し、無料CMS（BASE等）を使用することで支出を抑える。（ドメイン代・サーバー代は合わせて10,000円計上する）</p> <p>今年度スタート事業であるため周知活動に力を入れ、イベントの参加希望者に当事業を多く知ってもらう必要がある。</p> <p>このため今回の主な周知先が若年層であることから、InstagramやTwitter、Youtube、TikTokなどの若者が普段使用しているSNSを中心とした周知を行う。オウンドメディアへの流入は上記SNSからの流入を想定し、PV数を増やしていくものとする。（デジタル広告費として50,000円×12ヶ月=600,000円を計上する）</p>
<p>重点テーマに該当する理由</p>	<p>移住前後のコミュニティを生むことで移住前は移住した後の生活を明確にイメージでき、移住後もコミュニティの仲間との生活ができることのプラットフォームを作れることで移住のハードルを下げることに繋がる。</p> <p>このことから若い世代の人口増加につながる取組といえる。</p>
<p>翌年度以降の取組</p>	<p>来年度以降は観光資源(温泉等)や題材を別のものとして、継続的に移住検討者に向けての取り組みを検討している。</p>